

補助事業成果報告書

法人番号	231001	法人名	愛知学院	学校名	愛知学院大学
内定番号	—	補助項目名	在外研究		
教育研究課題名	消費者行動の知見にもとづく差別化戦略の探究				

<p>1、補助事業の取組状況（500字以内）</p> <p>1. 差別化要因としてのブランド・アーキテクチャに関する研究 University of Victoria Peter B. Gustavson School of Businessの消費者行動分野の教員らの助言を得つつ、消費者行動の諸理論、諸概念にもとづいて、差別化要因としてのブランド・アーキテクチャの構築方法についての研究を行った。特に、本主題において最も重要な概念の1つであるブランド・エクステンションについての先行研究のレビューを行った。</p> <p>2. University of Victoriaにおけるビジネス教育に関する調査 研究期間中、University of Victoriaにおけるビジネス教育についての知見を得ることを目的として、主に下記のような活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・University of Victoria Division of Continuing Studiesが開講する、Diplomaコースの授業（Marketing）に毎回出席し、授業の内容、指導方法等についての知見を得た。 ・Division of Continuing Studiesにおけるビジネス教育の現状について、専任スタッフにインタビューを行った。 ・Peter B. Gustavson School of Businessにおけるビジネス教育の現状、特に学部のカリキュラム等について、専任スタッフにインタビューを行った。 ・University of Victoria Coast Capital Savings Innovation Centreの活動内容と成果について、専任スタッフにインタビューを行った。

<p>2、補助事業の成果（500字以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学会報告 下記のとおり、在外研究の成果を発表した。 学会名：日本商業学会 中部部会 開催日：2019年4月20日（土） 会場：愛知学院大学 名城公園キャンパス 報告題目：「カナダにおけるマーケティング教育について」 報告内容：日加間における大学の特徴比較（特に、学部学生の卒業状況についての比較）、Coast Capital Savings Innovation Centreの活動内容と意義、Peter B. Gustavson School of Businessにおけるカリキュラムの特徴や授業の実態、ビジネス系学部の「演習」科目における指導方法についての提言（「研究型」活動と「演習型」活動との比較）等。 ・論文、または研究ノート 下記のとおり研究成果を論文、または研究ノートとして掲載する予定である。 掲載誌名：『商学研究』愛知学院大学商学部（2019年度中刊行予定） 題名：「ブランド・エクステンション研究の変遷と今後の展望」（仮題） ・学内における研究報告 愛知学院大学産業研究所主催の在外研究報告会（2019年6月頃開催予定）において在外研究の成果を報告する予定である。
--

所属	職名	氏名	
商学部	准教授	秋本 昌士	